「若者が主役!地域まるごと活性化事業」

津山市子ども食堂応援団

津山市子ども食堂応援団実行委員会

津山市西苫田公民館・中央公民館他

１．事業の概要

美作大学生やオレンジハート津山やフードバンク岡山などのＮＰＯ関係者、行政担当者、地域のボランティアなどがスタッフとなり、賞味期限切れが間近となり廃棄予定の食品などを企業から譲っていただき、美作大学食物調理科に所属する学生が栄養計算や献立作成などを行いながら、子ども食堂を毎月開設した。また、子どもの貧困についての理解と今後の支援方策等、子ども食堂に対する地域への理解や普及等を進めるため、公民館長や地域で子どもの支援に関わる方、行政担当者など、津山市におけるコーディネーター的な役割を果たす人を対象に指導者研修会を開催した。

そして、子どもの貧困に対する理解を進める研修会や子ども食堂などを通じた支援の重要性について意識啓発を進めたことで、他地域でも地域の子どもたちを支援する新たな取組みを企画する動きが始まっている。

２．具体的な事業内容や活動の様子等

この実行委員会では、直接的な子ども食堂の運営に関することだけでなく、現代社会の中で子どもの貧困が起こる社会的背景や津山市の子どもたちの置かれている現状などについて、高校生や大学生、公民館長、行政担当者、地域で子どもの支援に係る指導者などへ、子どもの居場所づくりや地域の中で支え合う体制づくりの大切さについて意識啓発を進めてきた。そのことで、子どもの貧困が単に金銭的な問題から起こるのではなく、つながり格差が大きな背景としてあり、子どもや保護者の孤立的な関係性を改善することの重要性も見えてきた。

≪指導研修会の実施≫

（１）①１月１３日（金）　津山市中央公民館

公民館長との合同研修会

「子どもの貧困の現状と支援のあり方について」

～地域で支援する「子ども食堂」の可能性について～

講師：株式会社ヘルパーステーショングリーン

あさくち GREENMARKET　三井津好恵　さん

ＮＰＯ法人オレンジハート つやま　角野いずみ　さん

②２月３日（金）津山市すこやかこどもセンター

子どもの貧困指導者研修会

『「貧困とひとりぼっちのないまち」〝つやま〞を考える』
講師：幸重社会福祉事務所　幸重忠孝　さん

これらの研修を通じて、子どもの貧困や孤立化する人間関係など、貧困が連鎖する原因や背景などについて取り上げながら、公民館など地域での居場所づくりが果たす役割の重要性について理解を進めた。

３．成果や課題、今後のビジョン等

主な成果として、ＮＰＯ関係者、大学生、行政担当者、公民館長など地域で子どもの支援に係る関係者が連携して取組みを進めたことで、子どもの貧困や子ども食堂の運営に対する理解が少しずつ進んできた。また、この取組みには、大人だけでなく大学生や高校生などもボランティアのとして参加していることで、社会にある課題について若い世代が理解を深め、その解決に向けた具体的な支援のあり方について考えることができた。中でも、子育ての悩みや課題を抱える保護者等の実態について関わりの中から学ぶことで、将来の進路選択についても積極的に考えるきっかけともなった。
さらに、子どもの支援に係る地域の方や公民館長など、地域でコーディネーター的役割を果たす人々と子どもの貧困について考える研修会を開催したことで、子どもの貧困が単に金銭的な問題だけでなく、人と人のつながりの格差として存在していることも共有できた。
そして、地域で人と人がつながり、子どもや保護者の居場所を作ること、孤独にしないことなどの重要性について確認ができたうえで、地域の実情に応じた支援体制づくりを進めるきっかけにできた。
課題としては、子どもの貧困については、デリケートな部分が多く本当に支援を必要としている方や家庭への支援や情報提供などが難しい現状がある。また、個人情報に関係することが多くあるため、地域での支援に向けた情報交換や企画など、協働の取り組みに時間がかかることも分ってきた。
そこで、今後は、学校や行政、地域の支援に係るＮＰＯや指導者などの連携に加え、高校生や大学生などの若い世代の協力者を増やしながら、子どもの課題を地域の課題として取り上げ、住民自らが課題の解決に向けて行動する意識や体制づくりに向けて取り組みを進めたい。